

経営比較分析表（令和3年度決算）

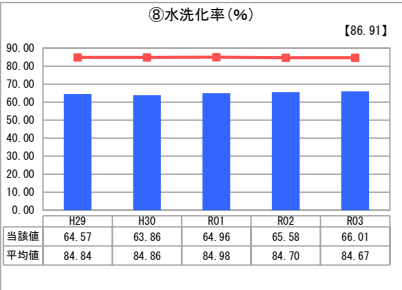
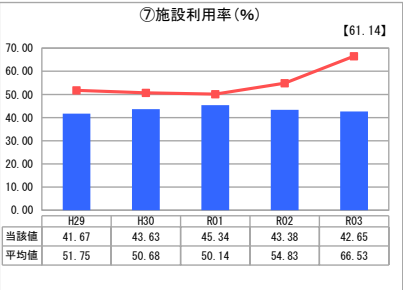
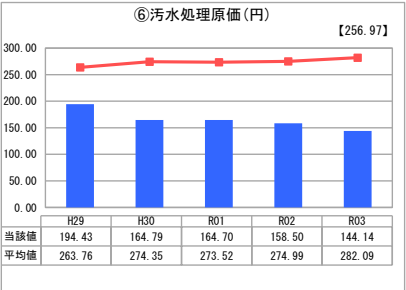
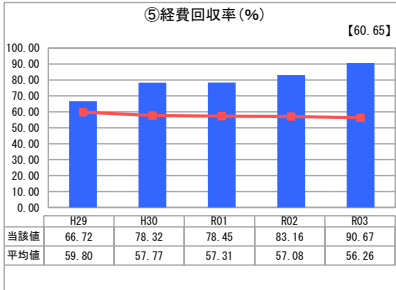
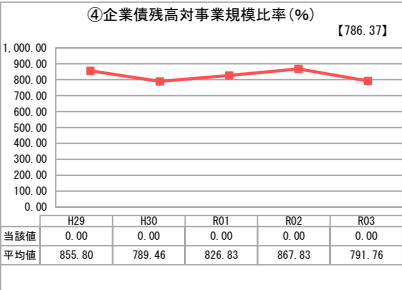
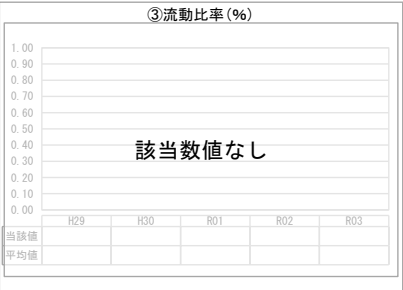
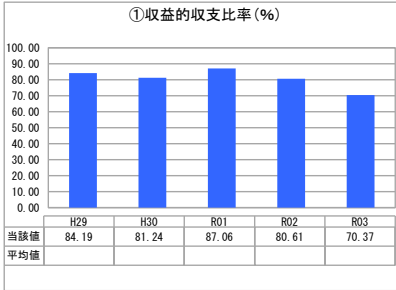
高知県 安芸市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	5.22	94.80	2,310

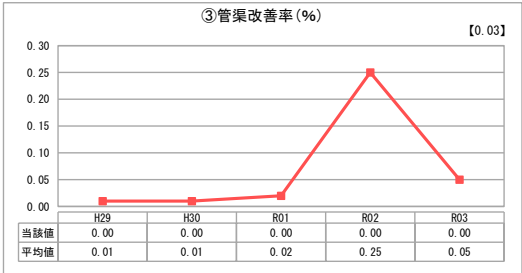
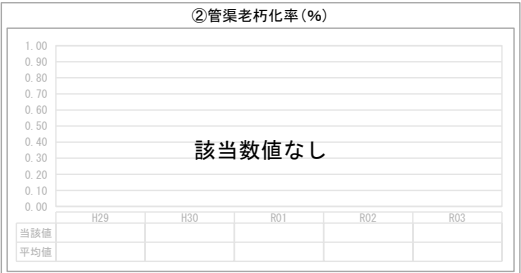
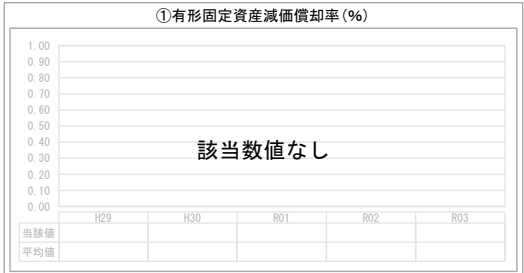
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
16,592	317.16	52.31
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
859	0.43	1,997.67

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①前年に比べ、大幅な営業収益の減少（主に令和4年度から公営企業法適用に移行するための打ち切り決算によって令和3年度支払の減少等による他会計繰入金金の減少）により収支比率が下がった。しかし、以上のことを踏まえても100%には満たないため、経営改善が必要である。

④H25年度に一般会計からの繰出基準を見直した結果、比率が極端に下がった。企業債残高対事業規模比率は0%となった。企業債残高は年々減少しているが、残高自体が無くなったわけではないため、引き続き経営改善に取り組む必要がある。

⑤H29年度に低下した原因は、汚泥処理費の臨時的な増加によるもの（ポンプ修繕237万、臨時汚泥処理55万、処分場縮小による補助金返納135万など）。90%まで回収率が上がったので引き続き、100%を目標に経営改善を行う。

⑥H29年度に上昇した原因は、⑤と同じく汚泥処理費の臨時的な増加によるもの。今回150円以下となったため、引き続き150円以下を継続する。

⑦平均値を下回っており、施設利用率を上げるためには、接続率を向上させることが必要である。そのため、普及啓発活動の強化に取り組んでいく。

⑧毎年度微増しているものの平均値を下回っており、水洗化率向上のための普及啓発活動の強化が必要である。

2. 老朽化の状況について

③現時点では更新が急がれる管渠は無い。

全体総括

料金水準適正化の検討、接続率向上のための啓発などに取り組む、他会計繰入金金の依存度を下げる必要がある。

今後は処理場の長寿命化も必要であり、より健全・効率的な経営が求められる。

平成29年度 機能診断（赤野処理区）
平成30年度 機能診断（奈比賀処理区）
令和元年度 最適整備構想
令和2年度 計画策定
令和4年度～令和7年度 機能強化対策工事

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益の収支比率の類似団体平均等を表示していません。